

くまもと都市圏インターンシップ促進業務委託 契約候補者選定審査基準

くまもと都市圏インターンシップ促進業務委託における参加表明者の選定に関し、以下のとおり定めるものとする。

1 契約候補者の選定方法

- (1) 雇用対策課業務委託候補者選定審査会設置要綱（以下「設置要綱」という。）に規定する各審査員が、参加表明者から提出された提案書等及び説明動画等の内容に基づき、下記「2 評価の手順」に従い評価を行う。
- (2) 評価合計の最高得点者を契約候補者として選定する。ただし、最高得点者が複数者いる場合は、その中から雇用対策課業務委託候補者選定審査会（以下「審査会」という。）の議決により選定する。
- (3) 参加表明者が1者のみの場合であっても、(1)に示した評価を行うこととし、この場合において、各審査員の得点平均が50点未満のときは契約候補者として選定しない。

2 評価の手順

- (1) 事務局は、提案書受付時に提案金額が提案上限額以内であるかを確認し、上限額を超えている場合は、その提案書を失格とする。
- (2) 審査員は、提案書類の記載内容を確認し、説明動画を視聴し審査を実施する。
- (3) 審査員は、次に掲げる審査項目及び評価基準に基づき評価を行う。
- (4) 事務局は、審査項目ごとに各審査員の採点を平均（小数点第2位以下切り捨て）し、合計した点数を参加表明者の得点とする。

【審査項目】

評価項目	評価のポイント	配点
1 基本事項	<p>○仕様書に定める全業務（3種の研修、広報、アンケート、報告）について、履行期間内に確実に実施可能なスケジュールとなっているか。</p> <p>○地場企業・中小企業への支援を前提として、研修運営、進捗管理、熊本市との連絡調整を円滑に行える人員配置・役割分担・実施体制が具体的に示されているか。</p>	10 満点
2 大学生等をターゲットとしたインターンシッププログラムの作成	<p>○インターンシップ未実施企業や人事専任担当者を持たない企業でも、無理なく取り組める内容・進行設計となっているか。業種・規模・地域性が異なる地場企業を想定した配慮が見られるか。</p> <p>○段階的受入体制構築への有効性 オープン・カンパニー、就業体験、5日以上のインターンシップを含め、段階的に受入体制を高度化できる研修構成となっているか。最終的に、5日以上のインターンシップ実施を見据えた設計となっているか。</p> <p>○事前準備チェックリスト等が整備され、研修後に企業が自走できる実用的な内容となっているか。</p> <p>【加点要素：学生視点の活用】 学生の意見・評価・ニーズ等を研修内容に反映し、地場企業が学生理解を深めるための材料として活用できる工夫があるか。</p>	30 満点
3 企業説明会コンテンツ設計研修	<p>○中小企業でも可能な内容か 高度な専門スキルや高額な機材を必要とせず、中小企業でも実行可能な方法・工程が示されているか。時間・人材に限りのある企業でも取り組める内容か。</p> <p>○学生に伝わる説明力向上への寄与 学生ターゲット設定、メッセージ設計が体系的に整理され、地場企業の魅力や仕事内容が伝わる構成となっているか。 企業説明会における説明内容を一貫したストーリーとして整理できる設計か。</p> <p>【加点要素：学生の反応を踏まえた改善視点】 学生から見た「分かりにくさ」「魅力が伝わらない点」を踏まえ、企業側が改善に気づける視点が研修に組み込まれているか。</p> <p>【加点要素：AI等デジタル技術の活用】 生成AI等を活用し、企業説明会コンテンツの設計・改善を効率化する手法を研修に取り入れ、研修後に企業が自走的に改善・更新できる状態を目指す工夫が見られるか。</p>	20 満点
4 プレゼンテーション研修	<p>○地場企業の実態に即した研修内容か 話術の巧拙を競う内容ではなく、説明会で最低限必要となる実践的な伝達力向上を目的としているか。 学生対応に不慣れな企業担当者の不安解消につながる内容か。</p> <p>○ロールプレイやフィードバックを通じて、研修後に現場で再現可能な構成となっているか。学生からの質問対応等、実務で想定される場面への対応力を高める内容か。</p> <p>【加点要素：学生目線を意識した「伝え方」】 学生にとって分かりやすく、理解しやすい表現を意識した学生目線の伝え方が組み込まれているか。</p> <p>【加点要素：AI等を活用した改善・内省プロセス】 生成AI等を用いた原稿改善、想定問答の整理、振り返り等の手法について紹介又は演習が盛り込まれ、研修後に企業が自主的に改善を継続できる設計となっているか。</p>	20 満点

5 企業等への広報 及び募集	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地場企業・中小企業に届く広報か 熊本連携中枢都市圏内の地場企業・中小企業を対象として、効果的かつ現実的な広報手法が具体的に示されているか。 ○ 中小企業向け研修であることが明確に伝わる募集内容となっているか。 ○ 各研修 20 社という目標に対し、募集時期・周知方法・回数が適切に設計されているか。 	20 満点
合計		100 満点

【評価基準】

審査項目 1～5 について（各審査員が直接採点）

	10 点満点	20 点満点	30 点満点
きわめて優れている	9～10	17～20	25～30
優れている	7～8	13～16	19～24
普通	5～6	9～12	13～18
やや劣る	3～4	5～8	7～12
劣る	1～2	1～4	1～6